

残暑が続きますが、皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。
さて、西山中地区の工事に於きましては雨風や暑さにも負けず、盛土作業を行っています。引続きダンプトラック10台にて盛土材を運搬しながら盛土を9月中旬頃まで施工予定ですので、何かお気付きの点があれば、下記連絡先までご連絡下さい。工事中は何かとご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、細心の注意を払いながら工事を進めて参りますので、ご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

また、8月3日町内会にて開催されました夏祭りにご招待戴き、誠にありがとうございました。御礼と感謝の気持ちを込めまして8月9日に、泉田駅前周辺と現場入口周辺のゴミ拾いを実施しましたので、併せてご報告させていただきます。略儀ながら書中にて感謝申し上げます。

✦ 西山中地区道路改良工事 津藤、佐藤

★ 現在の盛土施工について

現在の盛土施工はどこまで進んでいるのか？との疑問に、今回は実際に現場で実施している管理方法をご紹介します。今回工事ではICT（情報通信技術）を使用したスマートコンストラクション（下記画像）による土量管理及びドローンの画像データを基に、日々変化していく土量を管理するエブリティドローンを採用しています。下画像の着色部分が盛土範囲となり、盛土の施工量により着色【赤色0%→黄色50%→緑色100%】され進捗状況が把握できます。左側の部分が緑色のため盛土が完了したことが判別できます。今度は右側の赤色の部分を盛土するというような流れが一目瞭然であり、日々の盛土土量の把握や盛土運搬計画等に生かされます。

SMARTCONSTRUCTION

永井建設(株)様 西山中地区道路改良工事 > 施工進捗

ポイント



※画像はエブリティドローンにて取得した実際の画像となります。

全画面表示

%表示

cm表示

地図

進捗状況

施工範囲

平面図

写真① 盛土前

写真② 盛土後

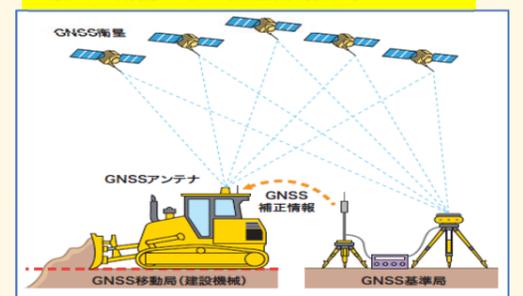
たくさんの土が盛られて、道路らしくなってきたなあ!!



こらじからのお知らせ

今回は、現在盛土施工で活躍しているICT建機をご紹介します。ICT建機とは、簡単に説明すると自動車のカーナビと同じ原理で人工衛星を利用し、自分の位置情報を取得できる重機械です。位置情報と現場の情報を組み合わせることにより、自分が現場のどの位置・標高にいるのかわかり、半自動で重機をコントロールしてくれるシステムも兼ね合せています。まず1台目はバックホウ(PC200i)で、盛土の法面を整形します。2台目はブルドーザ(D37PXi)で、盛土材を平らに敷均します。どちらも自動でバケットやブレードの高さを調整してくれるので、今まで重機オペレーターの経験と感覚に頼っていたものが、誰が運転しても同じように盛土を仕上げる事ができるようになります。今後すべての建設現場に普及する最先端の技術です。

※人工衛星からの位置情報取得イメージ



i-Construction

※国土交通省では、ICTの全面的な活用等の施策を建設現場に導入することによって、建設生産システム全体の生産性向上を図り、もって魅力ある建設現場を目指す取組である【i-Construction】(アイ・コンストラクション)を進めています。

★現場での安全・社会貢献への取組み

・8月2日に『建設業夏季無災害運動』の一環として、新庄労働基準監督署・山形県建設業協会最上支部合同のパトロールを当現場にて実施していただきました。特に大きな指摘等はありませんでした。

・8月3日泉田駅前町内会で開催された夏祭りに御招待いただきありがとうございました。当日は皆様のあたたかい歓迎とおもてなしにより、楽しい時間を過ごさせてもらいました。地元の皆様の泉田道路に関心が高い事が分かり、気を引き締め直す良い機会になりました。区長始め関係者の皆様、暑い中本当にご苦労様でした。

・8月9日お盆休み前に、泉田駅前周辺と現場入口のゴミ拾い・道路清掃活動を行いました。実施前に区長からも話は聞いていましたが、本当にゴミの量が少なく、空き缶ひとつも落ちていない状態でした。これも町内の皆さんの心掛けだなど関心した次第です。



発行・編集 永井建設(株) 西山中道路現場事務所 TEL 0233-29-5523 担当：浅岡健介

会社ホームページ <http://www.nagai-construction.com/>

※現場の動画もホームページ内で公開中です。興味ある方は是非ご覧下さい!!

永井建設ウェブ

